

2025 INFORMS Annual Meetingでの発表



目で見ると
海外論文発表

堤 優太*

Presentation at 2025 INFORMS Annual Meeting

Key Words: Electric Vehicles, Middle-Mile Deliveries, Facility Location Problem

<参加会議名>

2025 Institute for Operations Research and the Management Sciences (INFORMS) Annual Meeting

<開催場所> Atlanta, America

<渡航期間> 2025年10月23日～31日

<発表タイトル>

Charging Station Operation Optimization for Middle-Mile Commercial EV with Travel Behavior and Time-Varying Energy Costs

この度、アメリカのアトランタで開催された2025 Institute for Operations Research and the Management Sciences (INFORMS) Annual Meetingに参加し、口頭発表を行いました。本学会は、オペレーションズリサーチがより良い世界を実現するための意思決定にどのように貢献しているかを共有す

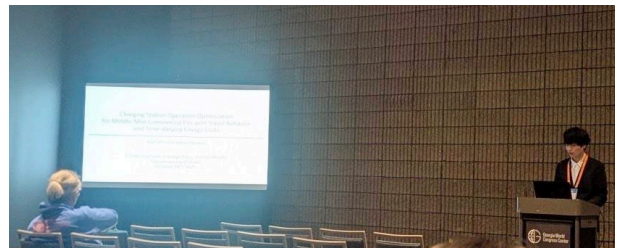


学会会場の Georgia World Congress Center



* Yuta TSUTSUMI

2000年10月生まれ
大阪大学 工学部 応用自然科学科 卒業 (2024年)
現在、大阪大学 大学院情報科学研究科 情報数理学専攻 システム数理学講座 博士前期課程2年
TEL : 06-6879-4249
E-mail: yuta.tsutsumi@ist.osaka-u.ac.jp



発表の様子

ることを目的としており、毎年北米で6,000人を超える参加者が集まる大規模な会議です。

私はEV Infrastructure: Planning and Optimizationのセッションで、電気自動車(EV)を活用したミドルマイル配送(物流拠点間配送)における充電時間枠を考慮した充電インフラの配置計画に関する研究の発表を行いました。学会ではEVによる物流に関する研究発表も多く、自身の研究に近い分野の最新の動向や、各国の研究者によるレベルの高い発表に触れ、今後の研究に向けた大きな刺激を受けました。

今回の学会参加では、海外の研究者との交流や、現地文化の体験など貴重な経験ができました。一方で、英語力の不足を痛感する場面もあり、語学力を高めたいという新たなモチベーションにも繋がりました。

最後になりましたが、本学会への参加にあたりご支援を賜りました生産技術振興協会の皆様に厚く御礼申し上げます。



研究室の同期と会場で記念撮影